

2019年1月30日

## ○北海道大学における英語認定試験の活用について

北海道大学は、国立大学協会が2018年3月30日に発表した「大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験\*及び記述式問題の活用に関するガイドライン」（以下「ガイドライン」）に記された、英語4技能（読む・書く・聞く・話す）の総合的評価を重視するという趣旨を理解し、英語認定試験の活用の基本方向としては、ガイドラインに言う「一定水準以上の認定試験の結果を出願資格とする」という方向で検討しています。

ただし、本学においては、2022年度入試（2021年度実施）に向けて入試改革を行う予定であり、さらに2020年度からは本学学生向けに、英語を中心とした外国語教育改革を実施する予定であって、英語認定試験の活用を考えるためには、これら本学の改革の検討内容との整合性を図っていく必要があります。

加えて、本学は、ガイドラインでも触れられている受験生の公正な受験条件の確保に関して、特に、英語認定試験の受験料負担や受験機会の公平性、障害のある受験生への配慮等について、より詳細な検討を要すると考えます。また、その他にも、受験生に求められる英語4技能とそれぞれの英語認定試験の目的や評価基準の相異等との関係、英語力（特に話す力）の有意義な判定方法等について、より詳細な検討を要すると考えます。

このような次第から、本学は、英語認定試験を受験することが望ましいとは考えるものの、その活用に関しては、以下のように取り扱うこととします。

- 1) 2021年度入試（2020年度実施）においては、英語認定試験の受験を出願の要件とはしません。
- 2) 本学は、上記の入試改革及び外国語教育改革に歩調を合わせつつ、英語認定試験の活用につきさらなる検討に努め、2019年12月までに、2022年度入試（2021年度実施）以降の英語認定試験の活用方針を決定します。

\* 独立行政法人大学入試センターが認定した英語4技能を評価する民間の資格・認定試験

以上

2018年8月

○平成32（2020）年度以降における大学入学共通テストの枠組みにおける  
英語認定試験及び記述式問題の活用について

北海道大学では、平成32（2020）年度以降に実施する大学入学者選抜において、大学入学共通テストの枠組みにおける英語認定試験\*及び記述式問題を以下のとおり活用します。

\* 独立行政法人大学入試センターが認定した英語4技能を評価する民間の資格・認定試験

**【英語認定試験】**

英語認定試験の活用については検討中のため、今年度末までに公表する予定です。

なお、平成36（2024）年度大学入学者選抜（平成35（2023）年度実施）までは大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を課します。

**【記述式問題】**

国語の記述式問題は、その結果を点数化し、マークシートの得点に加点します。

大学入学共通テストの配点については、大学入試センターで検討中のため、決定され次第、改めて公表します。

なお、数学の記述式問題については、正誤のみの判定であること及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとなります。